

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

Tel. 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

2014年
2月1日
第344号



http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

憲法改悪反対！大幅賃上げ獲得！組織拡大実現！

第27回定期中央委員会に結集しよう！

本部は2月11日、名古屋市で第27回定期中央委員会を開催します。昨年の第28回定期大会以降の闘いの総括と、春の闘いを中心とした活動方針について意思統一します。闘いの柱の1点目は、憲法改悪反対、戦争のできる国づくりを阻止するために、反戦・反核、平和・人権・民主主義を守る闘いを広範につくり出すことです。第二次安倍内閣発足後、特定秘密保護法成立や国家安全保障会議(日本版NSC)が発足し、さらに集団的自衛権の解釈改憲が進められています。まさに戦前への回帰といえるものです。私たちは、何として

も戦争のできる国づくりを許してはなりません。なぜなら、戦場に行くのも犠牲になるのも労働者・一般市民だからなのです。2点目は、ベア獲得、定期昇給の経過年数による減額撤廃を要求して闘うことです。今春闘において経団連がベアを容認する発言がされたことにより、連合はベア獲得の方針を打ち出しました。JR総連もその方針に則り、ベア要求を掲げてJR春闘を統一闘争で闘うことが議論されています。JR東海労も、その方針のもとに闘います。3点目は、不当なボーナスカットを許さず、差別の温床となつてい

る専任V撤廃させ、イジメと差別の強権的労務管理を許さない闘いを展開することです。昨年、若いJR東海ユニオン組合員が相次いで自殺するとい痛ましい事件が発生しました。また、専任Vに落ち込み職場での狙い撃ちが人命をないがしろにする労務管理を絶対に許してはなりません。

4点目は、リニア中央新幹線着工反対の闘いで。会社は、今年10月には工事を着工したいと表明しています。説明会や公聴会では、圧倒的多数の住民が反対しています。また、リニア建設によつて労働条件や福利厚生がさらに悪化していきます。今年、正念場の闘いになります。

5点目は、一切の弾圧・組織破壊攻撃を許さない闘いです。安全問題や口実として、JR北海道労組に大がかりな組織破壊攻撃がかけられています。また、美世志会6名の解雇撤回を求める裁判において、東京高等裁判所は一番の判決を覆願います。

別の温床となつてい専任V撤廃させ、イジメと差別の強権的労務管理を許さない闘いを展開することです。昨年、若いJR東海ユニオン組合員が相次いで自殺するとい痛ましい事件が発生しました。また、専任Vに落ち込み職場での狙い撃ちが人命をないがしろにする労務管理を絶対に許してはなりません。

6点目は、職場の問題の改善、労働条件向上の闘いを通じて、さらなる組織拡大を勝ち取ることです。1月13日、大阪仕事検査車両所で、渡邊幹夫さんがJR東海労に加入しました。渡邊さんには、JR東海労の仲間として、今年9月の記者会見で山田社長は「リニアはペイしない」と発言した。赤字を承知で巨額事業を進めるとは、正気の沙汰ではない。利益が目的でなければ、日米同盟の強化しかり得ない。これに何ら疑問を持たないJR東海ユニオンは、責任組合を名乗る資格はない

1月13日、大阪仕事検査車両所で渡邊幹夫さん(50才)がJR東海労に加入しました。新幹線関西地本は、同日開催した新春旗開きで歓迎会を開催しました。渡邊さんの勇気ある行動に、参加者全員で前進していくことを確認しました。本部は翌14日、渡邊さんの加入にあたり、会社に対し「当該組合員に対して、管理者等による作業中の監視等、一切の不当労働行為や人権侵害を行わないこと」加入に対する報復としたJR東海労への組織破壊、組織介入を行わないことなどを記載した「組合員の加入に関する申し入れ」(「申第25号」)を提出しました。



第28回定期大会より

1月13日、大阪仕事検査車両所で渡邊幹夫さん(50才)がJR東海労に加入しました。新幹線関西地本は、同日開催した新春旗開きで歓迎会を開催しました。渡邊さんの勇気ある行動に、参加者全員で前進していくことを確認しました。本部は翌14日、渡邊さんの加入にあたり、会社に対し「当該組合員に対して、管理者等による作業中の監視等、一切の不当労働行為や人権侵害を行わないこと」加入に対する報復としたJR東海労への組織破壊、組織介入を行わないことなどを記載した「組合員の加入に関する申し入れ」(「申第25号」)を提出しました。

歓迎！渡邊幹夫さん

(大阪仕事検査車両所分会)

新幹線関西地本が歓迎会開催



社内誌「JR東海」1月号のトップ記事は、相変わらず葛西会長だ。今年中にはリニア中央新幹線建設を着工する意欲を示した。また、米国のワシントンボルティモア間にリニアを建設するために、5千億円を国費から出資することも新聞で報道された。昨年9月の記者会見で山田社長は「リニアはペイしない」と発言した。赤字を承知で巨額事業を進めるとは、正気の沙汰ではない。利益が目的でなければ、日米同盟の強化しかり得ない。これに何ら疑問を持たないJR東海ユニオンは、責任組合を名乗る資格はない

職場闘争強化！反リニア！反戦・平和！ 各地本で新春旗開き開催！

新幹線地本

新幹線地本は1月12日、目黒さつき会館で新春旗開きを開催しました。旗開きには、田城郁参議院議員ほか多くの来賓が参加しました。

成田委員長は「戦争のできる国づくりを許さず闘おう。フクシマの悲劇を繰り返さないために、核開発を許さないために、原発再稼働を許さない闘いを展開しよう。ペイしないリニアに反対しよう。報復処分撤回裁判、強制出向延長取消裁判、新たに立ち上げる労働審判の勝利を目指そう」と挨拶しました。

静岡地本

静岡地本は1月16日、新春旗開きを開催しました。

山本委員長は「静岡掲示地労委の闘いを何としても貫徹しよう。職場諸要求の闘いをさらに強化して、組織拡大を実現しよう。リニア中央新幹線反対の闘いで、市民団体などと連携していこう。反戦・平和、原発発、人権を守る闘いを展開しよう」と挨拶しました。

名古屋地本

名古屋地本は1月24日、労金会館で新春旗開きを開催しました。

山田委員長は「JR北海道労組への組織破壊攻撃を許さないために、連帯して闘おう。掲示板三重地労委とポーナスカット中労委の闘い、自動車乗務員の要員不足解決のための闘いを展開しよう。特定秘密保護法反対の集会を取り組んだ。戦争のできる国づくりを許さず闘おう。田城議員を名古屋の地から支えていく」と挨拶しました。

新幹線関西地本

新幹線関西地本は1月13日、西町甲東会館で新春旗開きを開催しました。司会者の山口副委員長は、大阪仕事検査車両所分会の渡邊幹夫さんの加入を高らかに宣言しました。

小林委員長は「本日の旗開きのスローガンにある、『葛西・安倍政権による、強権的な支配体制を許すな!!』について、具体的には職場の中から反撃の闘いをつくり出して



掲示撤去は不当労働行為だ！ 静岡地労委証人審問始まる

静岡地本で係争中の掲示撤去地労委の第1回証人審問が1月29日、静岡県労働委員会で開催されました。審問には、地本山本委員長と植松教宣部長（沼津運輸区分会会長）が証言しました。他の地本からも多くの傍聴参加がありました。

いくことが必要である」と挨拶しました。JR総連から萩原副委員長が駆けつけ、連帯の挨拶を受けました。

第2部は、渡邊さんの歓迎会を行い、参加者全員で美酒を味わいました。

ではないこと、植松教宣部長は現場での掲示撤去がいかに理不尽で一方的であることを、堂々と証言しました。

田城議員 便り



1月24日、第186回通常国会が始まりました。安倍首相は「好循環実現国会」と位置づけて、景気回復に向けて取り組みとしていきます。その中には、「世界一企業が活動し易い日本をつくる」と称し、かつて「派遣村」等、厳しい雇用状況が社会的問題になったことは記憶に新しいと思います。その後、派遣労働規制をいったんは強化しました。しかし、安倍政権は「労働者派遣法の改正

（悪）やホワイトカラーエグゼンプションなど過去の亡霊を呼び戻そうとするだけではなく、「限定正社員」という名の新たな不安定な雇用形態等の労働施策まで打ち出すなど、さらに労働者から搾り取るうとしているのです。

今通常国会において、私はこれらの諸施策に反対していくと共に、年末に強行採決で成立した「特定秘密保護法」の廃止法案を、民主党として提出していきます。また、「集団的自衛権の行使容認」や「武器輸出3原則の撤廃」等を許さず、さらには「総理の靖国参拝」「NHK会長の従軍慰安婦発言」等、先の大戦を反省せず、国際的にも孤立の道を歩む安倍政権の打ち出す経済の「好循環実現国会」が、「戦前回帰実現国会」にならないよう、しっかりと対峙していきます。

組合員の皆さん！安倍政権が再び数の力に任せ、た強引な国会運営や法案の成立をしないよう、是非、大きな声を上げてほしいと思います。職場と国政が一体となって、平和、人権、民主主義の確立した社会をつくるために、がんばりましょう！

